

KYOKUJOSAI
旭城祭

3217慶野正汰



目次

TABLE OF CONTENTS

はじめに

開祭式

各団体準備

一般公開

後夜祭

コロナ対策 1

コロナ対策 2

令和2年度の実績

令和3年度の試み

さいごに

はじめに

今回皆さんにはこのPowerPointを通して
佐野高校の最大イベントである旭城祭を
深く知っていただきたいと思います！！



開祭式 OPENING CEREMONY



開祭式では、

- ・旭城祭実行委員長による
開祭宣言
- ・旭城祭関連の表彰
- ・吹奏楽部による
迫力満点のセレモニー演奏
- ・各団体が制作し、
映像のプロが編集する
『旭城祭CM』放映

と旭城祭を感じれる
プログラムが用意されています。

各団体準備 PREPARATION



旭城祭準備

早い団体は夏休み中から
休み返上でとりかかります。

各団体が工夫を凝らして
作る上げるブースを
ぜひ楽しんでください！

一般公開 OPEN TO THE PUBLIC



ついに一般公開！！

一般の方々の来校で
生徒の熱も一段と高くなります。

生徒が考えた、至極の祭を
ぜひ感じていただきたいです。

後夜祭 LATE-NIGHT FESTIVAL



旭城祭一般公開後に
高校生のみ参加できる
祭典『後夜祭』

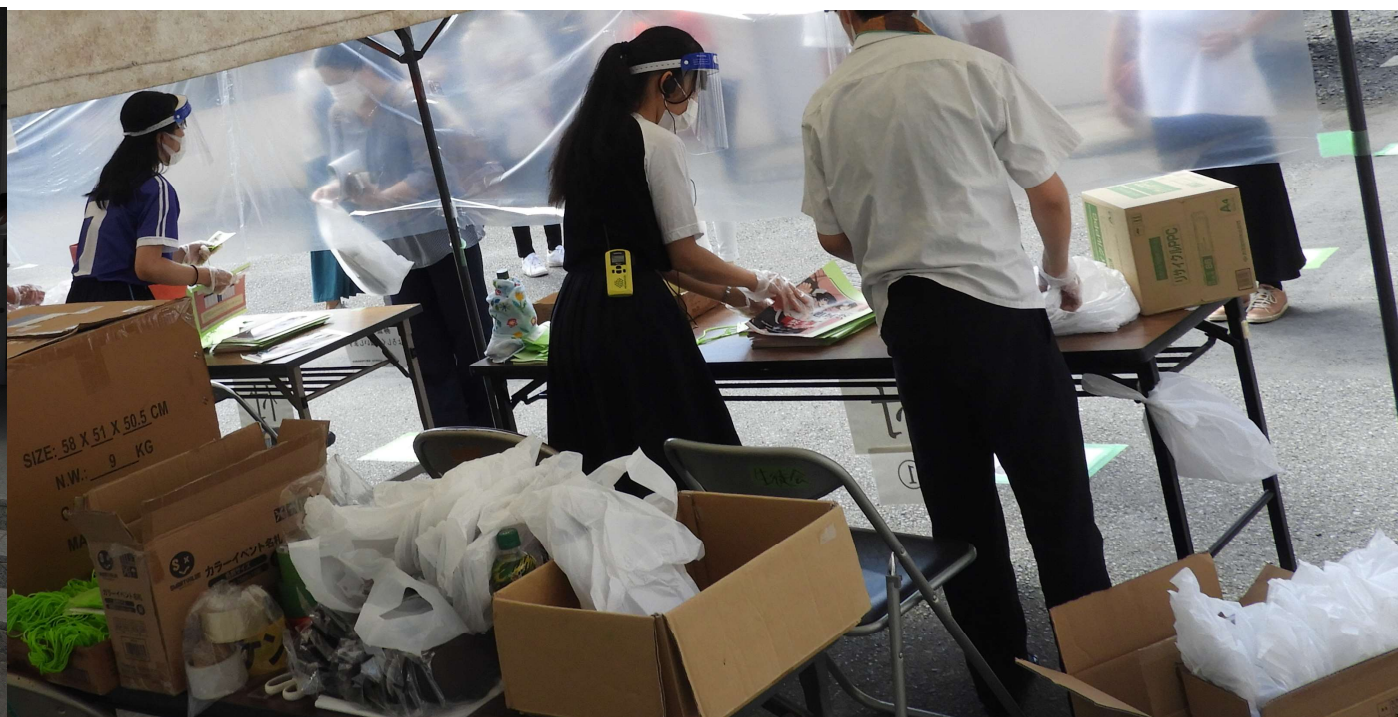
高校生有志が
歌・ダンス・バンド・
パフォーマンス
と自分の特技を披露します。

コロナ対策①

受付での対応

検温・消毒はもちろんのこと徹底したコロナ対策を受付で行っています。

また、逐一教室の混み具合を伝えるシステムも用意しています。



コロナ対策②

教室での対策

各教室のクラスボードにて『空』『満』と混雑状況を表示があります。
食堂等の飲食スペースはアクリル板を設置したり、
動線にはディスタンスを促す仕組みがあったりします。



令和2年度旭城祭での実績

21 地域 2020年(令和2年)8月31日(月曜日) 下野新聞

「密」回避、生徒が全力
保護者招き文化祭 佐野高・付属中

負けない
 新型コロナウイルス
 【佐野】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県立高などで学校祭の中止が相次いでいる中、佐野高と同付属中は30日、生徒たちが主体的に「3密」回避に取り組んだ学校祭「旭城祭」を両校舎で開いた。

コロナ禍の影響で、両校はすでに運動会を中止しており、「運動会とともに人気の学校祭だけは何とか開催したかった」と両校生徒が主体に「3密」回避に取り組んだ学校祭「旭城祭」を両校舎で開いた。

青柳育夫校長は「最初は開催が難しいと思っていたが、プレゼンを聞いてこれならできると、県教委に相談した」と目を細める。

本年度は、これまで人気の学校祭だけでは何とかならなかった「お化け屋敷」や「脱出ゲーム」などが換気上の

換気などを徹底しながら開かれた学校祭

問題などから姿を消し、学年ごとの研究発表や各部の成果披露が中心。保護者や教員も生徒の指示に従いながら、これまでに大きく変わった学校祭を楽しんでいた。

同祭高校実行委員長の3年熊倉幸寛さん(17)は「生徒会と一緒に頑張りが続けたので、今後の自信にもつながる」と話した。(柴田正人)

下野新聞 2020.8/31

令和2年度は、未知の存在『COVID - 19』の流行によって、旭城祭の開催そのものが課題となりましたが、当時の生徒会や実行委員会の努力によって、県内では唯一、保護者来場のもと学校祭を開催した、学校となりました。

令和2年度 1.17 防災未来賞

ぼうさい甲子園
参加校・参加団体募集!!

「with コロナ」における、みなさんの学校・地域の防災教育・防災活動、いのちを大切にすることをめざす取り組みを募集します。

今こそ生きる「ぼうさい」の学び

応募締切 令和2年 11月13日

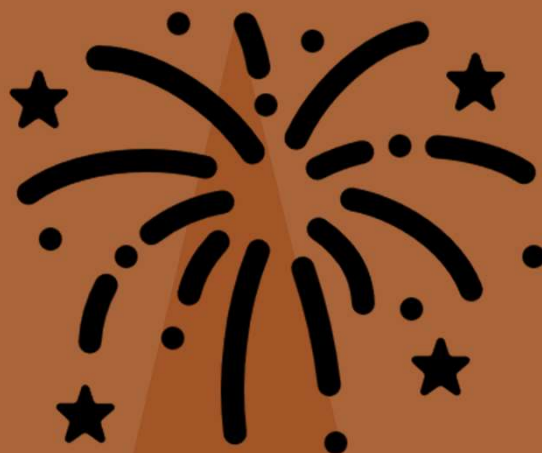
人と防災未来センター・防災センター長からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大が世界中で、数多くの学校でも授業・学校活動とその保護者をはじめ、社会・学校関係者、地域住民にも大きな影響を与えています。その中で、学校は「安全・安心」を確保し、学びの場として、地域社会と連携し、防災教育・防災活動を通じて、いのちを守ることを目指しています。この甲子園を通じて、学校・地域の防災教育・防災活動の取り組みを募集し、その取り組みを通じて、防災教育・防災活動の推進を図ります。

また、この実績を称え毎日新聞社などが主催する『ぼうさい甲子園』によって【しなやかwithコロナ賞】に選ばれました！！

令和3年度旭城祭の試み

花火 FIREWORK



令和3年度の旭城祭では、
生徒会長と実行委員長を中心に花火を打ち上げる企画書を制作し、
花火会社へのアポイント等はもちろん、
佐野市や近隣の住民の方々への説明を行い実施に至りました。
花火を企画した経緯は、郊外活動をコロナによってほとんど出来なかった当時の3年生が、
学校祭では記念になる思い出を作りたいという気持ちに、学校側も賛同して企画に至りました。

さいごに

旭城祭の魅力はまだまだたくさんあります。

「百聞は一見に如かず」

これをみて興味を持った方は
ぜひ旭城祭にお越しください。



見ていただき
ありがとうございました